

KYOTO STEAM—世界文化交流祭—古典文学×伝統芸能×新技術「新猿楽記」
制作・公演業務 委託事業者選定プロポーザル 審査方法及び審査項目

1 事業者選定方法

(1) 選定方法の概要

事業者の選定については、民間事業者の提案を幅広く取り入れる観点から、公募型プロポーザル方式を採用します。

なお、応募者が1者のみであってもプロポーザルが成立することとし、審査・選定を行います。

(2) 選定委員会の設置

提案内容の審査に関して、幅広い専門的見地からの意見を参考とするために、学識経験者等により構成される「KYOTO STEAM—世界文化交流祭—委託事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を設置します。選定委員会は、応募者の提案内容に対して評価を行い、委託候補者を選定します。

2 審査方法

選定委員会において、応募者から提出される業務提案書等の書類審査を、「審査基準」の項目に沿って審査し、第一順位の提案を行った者を受託候補者として選出します。

3 提案書等の欠格要件

選定委員会は、提出された提案書等が次の各号に掲げる事項に該当すると認めた場合は、当該提案書を無効とします。

- (1) 提案書に虚偽の記載があると認められる場合
- (2) 提案書に記載された見積金額が、上限契約額を超えた場合
- (3) 受託候補者の選定結果に影響を与えるような不誠実な行為を行った場合
- (4) 提案書の提出方法、提出先及び提出期限が指定された方法と異なる場合
- (5) 応募者に適正な契約の手続きの遂行に支障となる行為があったと認められる場合

審査基準

審査項目		係数	審査の視点	様式
応募者の実績	1 過去の関連事業の実績	3	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に同種・類似の事業経験は十分にあるか ・過去の同種・類似の実績で成果をあげているか 等 	1
	2 統括責任者	2	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務に責任を持って関わられる状況にあるか 等 	3
運営体制	3 配置人員	2	<ul style="list-style-type: none"> ・実績を有している人員を十分に配置しているか ・緊急事態に迅速に対応できる体制を有しているか ・事務局と密に連絡を取れる体制を有しているか 等 	4, 5
	4 事業趣旨の理解度	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容を理解し、その趣旨を反映したふさわしい提案となっているか ・先進性、希少性その他文化芸術都市・京都にふさわしい発想を有しているか ・日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業としてふさわしい提案となっているか ・2018年度に実施した「古典文学×伝統芸能×メディアアート『新猿楽記・Revision～序～』創成プログラム始動!」の成果を示す舞台芸術作品としてふさわしい提案となっているか 等 	6
5 実行能力	5	<ul style="list-style-type: none"> ・公演実施までの効果的なスケジュール作成及びそれに基づいた制作進行管理を行うことができるか ・出演者・テクニカルスタッフ等との協議、連絡調整等を円滑に行うことができるか ・公演を効果的に広報宣伝する印刷物等の作成を行うことができるか ・経費削減に関する工夫が見られる提案となっているか 等 		
6 独自提案	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「アート×サイエンス・テクノロジー」を体現できる内容となっているか ・産学官連携による内容となっているか ・京都における文化観光資源を活用する内容となっているか ・本業務の目的を達成するために有効な企業及び協力者の獲得について有効かつ具体的な内容が提案されているか ・国内外への戦略的広報を推進し、文化による「国家ブランディング」の強化、「観光インバウンド」の飛躍的・持続的拡充に資する内容となっているか 等 		
見積金額	7 見積金額	1	<ul style="list-style-type: none"> ・提案されている実施計画の内容に対して、見積価格は適正か 等 	7

(審査について)

ア 本審査は100点満点とする。

イ 各審査項目を「とても評価できる(5点)」、「評価できる(4点)」、「普通である(3点)」、「評価できない(2点)」、「まったく評価できない(1点)」の5段階で評価する。

ウ 審査項目のうち、重要度の高いものや提案内容に差が出やすい項目に対して、係数を設定している。

計算は次の式により行う。項目審査点×係数